

とだの保育創造プロジェクト会議 第5回協議の場 ～報告～

戸田市
こども青少年部
保育幼稚園室

概要

開催日時	令和元年 10月3日(木) 午後1時15分～午後3時00分	H30	H31(R1)
開催場所	戸田市文化会館5階 多目的ルームC	第1回 協議の場	第2回 協議の場
出席者	11名 欠席者 2名	第3回 協議の場	第4回 協議の場
		第5回 協議の場	第6回 協議の場



議題① 取組の進捗状況を報告しました。

- ✓ 今年度、実施している保育所見学ツアー・合同就職面接会・1園1チャレンジの進捗状況を報告しました。
- ✓ 日本最大級の保育士専門就職・転職支援サービス「保育士バンク！」を運営する㈱ネクストビートと戸田市の保育士支援に関する協定の締結について報告しました。



議題② (仮称) 保育園保育ビジョン(宣言文)に関する意見交換を行いました。

保育の質の向上・魅力アップにつながる取組として、(仮称)保育園保育ビジョン(宣言文)の目的や検討スケジュールを確認したうえで、「戸田市の保育園がめざす保育」について、グループごとに意見出しを行いました。

目的	✓ 各保育園でそれぞれの方針や考えがある中、 戸田市内の保育園が共通している考えや思いを明確かつ共有することで、戸田市の保育の質向上・魅力アップにつなげる。
考え方	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 戸田市の保育園の共通の目標や考え方を示す ✓ 市の計画等の目的を踏まえつつ「戸田市内の保育園が一丸となって取り組む」というプロジェクト会議の理念を継承していく。 ✓ めざす保育を簡潔なフレーズで整理し、宣言文のような形で打ち出す。
今後のスケジュール	✓ 若手保育士や、公立・私立・小規模の各園長会からも意見を頂きながら、協議の場構成員を中心に検討し、第6回協議の場を経て、策定する。

グループワークで出た意見(各グループ発表概要)

◇学識経験者の感想(グループワーク発表後)

子どもの姿は、話がやすく、色々な思いや意見が出てくるので、「そういう子どもたちを育てていくのにどうすればいいのか」と考えを広げていくと、保育者のことだけでなく、地域のことであったり、戸田市全体のことであったり、自然とそういった内容に議論が広がっていきました。その点でも意味があると感じました。

発表概要:グループ①

「戸田市」「保育園」「子ども」の3つに分類し、まずは子どもたちがこういう育ちをしていったらいいな、という観点から意見を出し合った。

めざす子どもの姿
のびのび遊べる子ども、健康な心と体、主体性、明るさ、やさしさ etc...,
こういった育ちをめざす子どもにとっては、このような保育園が必要なのではないか?!

安心安全、信頼・共感、受容などが備わった保育園であること

また、「感性豊かな保育士」、「地域に開かれた保育園」、「保護者と共に子育てができる保育園」といった資質・役割が求められるのではないか?! という意見が出た。

さらに、地域性として「フレッシュな保育園」、「多様な選択肢」、「いろいろな園を選べる」といった選択肢がたくさんあることや「連携」、「市のバックアップ」といった地域性も意義がある。

⇒それを成しえるのが戸田市にある保育園で、とても魅力ある市だと考えた。



発表概要:グループ②

まずは、我々がめざしたい子ども像、こういう子どもに育ってほしいということを皆で出し合った。

めざす子どもの姿
自分を大事にしたり、友達を大切にしたり、夢を持てたり、チャレンジしていく etc...,

めざす子どもの姿は、自分自身もなりたい姿なのではないか?!?と思い、次は自分や保育園で大事にしたいことを出し合う中で、



「こういう保育が理想」と、型にはまった保育者だけではなく、

子どもたちの個性を認めるためには、保育者にも色々な人がいることが大事である と気づいた。

また、「**私たちが大事にしている保育を発信していく力**」が、これからの保育園では重要！さらに、「**保育の大切さを保護者のみならず、地域や社会に訴える力**」も大事になってくる。

⇒その力を保育園や保育者一人ひとりが持っていかななくてはならないと考えた。



発表概要:グループ③

めざすところは保育所保育指針だが、戸田市がめざすという観点で意見を出し合ったが、1つでも欠けては良くないものであり、集約することも難しかった。

めざす子どもの姿
「障害や人種による偏見のない子ども」「自分の気持ちを表現できる子ども」「自ら考えることができる」「希望を持つことができる」「生きる力を持てる」「様々なことに興味、関心が持てる」「意欲的に取り組んでいる」「話が聞ける子ども」 etc...,

保育園で一番大事にしたいことは、

保育士、現場の職員が楽しいと思える保育であること を挙げたい。

全国的に、第三者からのイメージも「保育士は、大変」というイメージが多い。

⇒そういったイメージを払拭できる戸田市の保育を見つけられればいいのではないかと。

また、戸田市の良さとは何なのかと考えた時、公立・私立などの隔たりなく関わりを持てることが挙げられた。



議題③ プロジェクトの来年度以降の方向性について議論しました。

協議の場構成員への事前アンケートの結果をもとに、2年間の成果や課題、このプロジェクトの意義を確認しました。来年度以降の方向性について協議した結果、「**現行のプロジェクト会議は終了するが、テーマや会議目的を明確にした形で、プロジェクトの理念を継承していく**」という方向で一致しました。来年度以降のテーマや組織体制、進め方等については、引き続き、検討していきます。

主な意見

- ✓ 当初は、待機児童問題への緊急対策のために始まったプロジェクトである。今後の市の見通しを把握して議論したい。
- ✓ 出た意見・提案の取り扱いが明確なのであれば、協議の場は行政への意見・提案の場として意義があると考えられる。
- ✓ 一部継承の場合、継承するテーマが重要。テーマごとにメンバーを募って協議を行う形が良いのではないかと。戸田市として何が出来るのか、踏み込んだ議論が出来ると良い。
- ✓ 出てきた課題を絞り込んで作業部会を作って取り組むようにすると、ミッションが明確になり主体的に取り組めるのでは。全体を統括する協議の場では、これまでの取組についても丁寧なモニタリングが必要と考える。
- ✓ まず市がリーダーシップをとって取り組みたい課題を示し、その課題に取り組むために最適なメンバーを募る形が自然なのではないかと。